

令和 4 年度東大阪市地域研究助成金事業
研究成果の今後の活用について

研究テーマ	スポーツコンテンツを活用した魅力ある街づくりの実証研究
担当部署	花園・スポーツビジネス戦略課

研究概要	<p>東大阪市を拠点とするスポーツ団体を活用し、魅力ある街づくりにするためのフレームワークを検証する。</p> <p>特に、「花園中央公園」一帯を活用し、東大阪市と「モノづくり東大阪」と言われる中小規模事業者との連携の可能性を検討し、他市との差別化、プランディングの可能性を意図するために、現状の課題を抽出し、課題解消実現の可能性を検証する。また、スポーツ団体が存在することによる地域社会への影響について検証する。</p>
研究成果	<p>実証研究では花園ラグビー場を本拠地とする花園近鉄ライナーズの試合対象に検証を行った。「スタジアム周辺における消費行動調査」から来場者の支出の約20%は飲食費であることが示された。そこから地域経済の活性化にそのままつながると仮定すると、地域への金銭の流入は約2億円～5億円になることがわかり、スポーツの試合があることで、その金額が地域経済にインバウンドフローしており、地域の活性化につながっている事実が調査によって得られた。</p> <p>さらに、同調査ではラグビー以外の好きなスポーツとして、1位野球（66%）、2位サッカー（44%）という回答が得られた。まさに、「花園中央公園」では野球の大阪ゼロロクブルズ、サッカーのFC大阪が積極的に活動しており、プロスポーツ団体を活用することで、各チーム間においても相乗効果が期待できる。</p>
今後の活用	<p>本市では上記のとおり、花園近鉄ライナーズ、FC大阪、大阪ゼロロクブルズのプロスポーツチーム3団体が花園を拠点に活動を行っており、様々な事業協力を行うべく、任意団体「ジョイントハンズ花園」を結成している。現在に至るまで、本市としてもジョイントハンズ花園の支援を続けてきたが、今回の研究結果のとおり、更なる支援を続けることで、花園の賑わい創出、並びに地域経済への効果が期待できる。</p> <p>今後は研究結果をジョイントハンズ花園の各チームに情報提供し、チームと共同して花園の賑わい創出に努めるとともに、研究結果を活かし、更なる創意工夫で効果的に支援を行って行くことが必要であると考えます。</p>